

[成果情報名] 良日持ち性ダリア品種「エターニティシャイン」および「エターニティピーチ」の特性
[要約] 農研機構育成の新品種「エターニティシャイン」および「エターニティピーチ」は既存品種に比べ日持ち日数が長く、奈良県での冬春期作型に適した品種である。
[キーワード] ダリア、新品種、良日持ち性、栽培特性、冬春期作型
[担当] 栽培・流通科
[分類] 普及・行政・教育の参考となる技術情報

[背景・目的]

ダリア切り花はバラやカーネーション等に比べ日持ちが悪く、日持ち性の向上が消費拡大のための課題となっている。この課題解決に向け、農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構とする）では良日持ち性ダリア、エターニティシリーズの育成を進めており、新たに「エターニティシャイン」、「エターニティピーチ」が育成されている。現地への普及を見据え、奈良県での冬春期作型における切り花特性、日持ち性を調査する。

[成果の内容・特徴]

1. 「エターニティシャイン」は花色が濃い桃色で、花径 13cm の中小輪系品種である（図 1）。9 月定植、10℃加温、14.5 時間日長の栽培条件で、早生品種の「かまくら」よりも開花は早く到花日数は 70 日、一番花の収穫本数が株当たり 4.0 本であり生産性に優れている（表 1）。
2. 「エターニティピーチ」は花色が桃色で頭花の中心に向けて徐々に白く抜ける、花径 11cm の小輪系品種である（図 2）。到花日数は 80 日で、中早生品種の「ミッチャン」と同等である（表 1）。生育初期から茎曲がり小さく直立して生育し、頭花は上向きに開花する。
3. いずれの品種も頭花中心部の管状花が露出する露心花や茎曲がり、奇形花が生じない。早生および中早生であり、既存の主要品種と同等以上の収量が確保できることから県内の冬春期作型に適した品種である。
4. 気温 23℃、相対湿度 60%、照度 1000lx、12 時間日長での日持ち日数は、「エターニティシャイン」は生け水が蒸留水で 10.3 日、品質保持剤の利用では 14.3 日で、同系色の「ミッチャン」より 3.0～4.5 日長い（表 2）。「エターニティピーチ」は蒸留水で 9.0 日、品質保持剤の利用では 11.3 日である。

[成果の活用面・留意点]

1. 上記 2 品種を含むエターニティシリーズの生産については、農研機構と許諾契約を締結している利用許諾団体から苗を購入する必要がある、自家増殖は禁止されている。
2. 「エターニティピーチ」では秋田県や茨城県の夏秋期作型において、8～9 月の高温期に桃色のみの花色となる個体が見られているが、茨城県や奈良県、高知県、宮崎県での冬春期作型では生じていない。
3. 頭花への散布で舌状花の老化を抑制する品質保持剤、ミラクルミスト ff（クリザール・ジャパン（株））は、「エターニティピーチ」、「かまくら」、「ミッチャン」では効果が見られるが、「エターニティシャイン」では外花卉より先に頭花の中位部から萎凋が生じ、日持ちは延長しない。

[具体的データ]



図1 「エターニティシャイン」



図2 「エターニティピーチ」

表1 冬春期作型における「エターニティシャイン」、「エターニティピーチ」の栽培特性

品種	開花日 (月/日)	到花 ^z 日数 (日)	花径 ^y (cm)	切り花長 ^x (cm)	切り花 ^w 調整重 (g)	茎径 ^v (cm)	1番花 収穫本数 (本/株)	露心率 (%)
エターニティシャイン	12/5	70	13	128	47	1.2	4.0	0
エターニティピーチ	12/16	80	11	124	47	1.3	2.8	0
かまくら	12/9	74	15	143	67	1.2	3.6	0
ミッチャン	12/13	78	11	135	42	1.2	2.8	0

試験場所: 奈良県農業研究開発センター(奈良県桜井市)の硬質フィルム温室

栽培概要: 挿し芽2021年8月17日、定植9月13日(条間40cm、株間30cmとした2条植)、10℃加温、25℃換気、14.5時間日長、施肥量N-P-K=23-25-21kg/10a、摘心9月27日

調査数: 6株2反復

^z 摘心日から開花日までの日数

^y 品質保持剤処理条件における観賞3日目の花径

^x 1節目と2節目の間で採花した切り花の長さ

^w 茎長を60cmに切り、最上部の葉1対を残し脱葉した後の切り花重

^v 茎長60cmに調整後の切り花基部の太さ

表2 「エターニティシャイン」、「エターニティピーチ」の日持ち日数

品種	日持ち日数(日)	
	蒸留水	品質保持剤 ^z
エターニティシャイン	10.3	14.3
エターニティピーチ	9.0	11.3
かまくら	5.0	6.8
ミッチャン	7.3	9.8

観賞環境: 気温23℃、相対湿度60%、照度1000lx、12時間日長

日持ち終了基準: 頭花全体の1/3に萎凋または褐変が観察されるまでの日数

^z 蒸留水にグルコース 1%、イソチアゾリン系抗菌剤(Kathon-CG、ロームアンドハース ジャパン(株)) 0.5 mL・L⁻¹、硫酸アルミニウム50mg・L⁻¹を添加して作成

[その他]

研究課題名: ダリア新規育成系統の特性調査

予算区分・研究期間: 産学官(農研機構系統適応性・特性検定試験)・2020年

産学官(ジャパンフラワー強化プロジェクト推進)・2021年

研究担当者: 辻本直樹、印田清秀、原田優生

発表誌等: -